

令和3年度
事務事業評価シート 【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名		
01	06	02	01	164380	森林資源活用事業費		
総合計画	分野	01	しごと	政策	01 農林業の振興		
	施策	04	木材供給体制の構築				
目的	森林資源の活用を推進するため、木材の利用や特用林産物の生産を拡大する事業者に対して支援する。						
対象	林業者、特用林産物生産者						
意図	木材の自給率の向上と所得向上を推進する						
事業概要	特用林産施設体制整備事業【R3 R4繰越明許】 0円 生産用ほだ木の購入に対する補助 安全なきのご原木の導入支援 499千円 安全なきのご原木の導入に対する補助 木質資源活用支援事業 2,072千円 自伐型林業や松くい虫被害木活用に対する支援 きのご原木等処理事業 425千円 生産再開にむけた落葉層の除去を実施に対する支援 特用林産施設体制整備事業(繰越明許費) 949千円 生産用ほだ木の購入に対する補助						
市民参加の有無							
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定	後援・協賛	補助・助成	委託	
活動指標			単位	区分	R02	R03	R04
1	きのこ原木助成本数		本	計画	13,000.00	13,000.00	
				実績	10,780.00	11,900.00	
2	素材搬入受付日数		日	計画	24.00	24.00	
				実績	24.00	24.00	
3				計画			
				実績			
成果指標			単位	区分	R02	R03	R04
1	出荷再開者数		人	目標	68.00	68.00	
				実績	64.00	64.00	
2	素材搬入量		t	目標	440.00	440.00	
				実績	378.00	338.00	
3				目標			
				実績			
成果指標の達成度		目標値より高い		概ね目標値どおり		目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）		
原木を自身で生産していたしいたけ生産者は、補助があるとはいえ原木を購入することに抵抗があり、生産再開に消極的であると考えられる。 世界的な木材価格の高騰に伴い、県内木材市場等における取扱単価が上昇しており、これまで小口買取ステーションに運び込まれていた木材の一部がそれらへ流れた可能性がある。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	特用林産の生産振興や木材利用の促進は林業全般の安定経営に必要である。 〃 〃 〃
	妥当である	
	見直し余地がある	
	妥当でない	
有効性	成果の向上余地	木材の受け入れ態勢を整備し持ち込み安い環境を作ることで木材の有効利用が進む。
	向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	必要最低限の費用を設定している。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
	どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	J A などを通じ生産者等を把握していることや、新規参入者を含めている。 〃 〃 〃
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
	適正である	
総合評価	今年度の振り返り	原木しいたけ生産の支援については、新たに1名の生産再開者に対してほだ場の落葉層除去を実施するとともに、既生産再開者に対する継続的な支援を実施した。 木質資源活用については、一部のステーションの土地所有者が変わり小口買取制度の存続が危ぶまれたが、関係機関と緊密に連携し解決にあたることができた。
	次年度に向けて	原木しいたけについては、関係機関と連携の上、新規生産再開者の掘り起こしに努める。 木質資源活用については、小口買取ステーションの安定的な運営と取組の周知に努める。

令和3年度

事務事業評価シート

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	06	02	02	164410	森林整備事業費
総合計画	分野	01	しごと	政策	01 農林業の振興
	施策	04	木材供給体制の構築		
目的	民有林（市有林・私有林）の多面的機能を維持増進するため、良好な森林資源を確保する。				
対象	市有林、私有林、森林所有者				
意図	森林の多面的機能の維持増進、基本財産の造成をする。				
事業概要	森林整備 12,150千円 市有林の整備と管理 市有林復旧業務 森林整備活動支援 1,298千円 森林経営計画作成や施策集約化に対する支援 民有林保全対策 5,965千円 森林整備事業（補助事業）のかさ上げ補助 森林整備（繰越明許費） 22,280千円 市有林の整備と管理				
市民参加の有無					
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会		事業協力・協定	後援・協賛
		補助・助成	委託		
活動指標		単位	区分	R02	R03
1	市有林保育作業	ha	計画	65.00	60.00
			実績	22.40	38.48
2	私有林森林施業面積	ha	計画	300.00	300.00
			実績	87.09	152.63
3			計画		
			実績		
成果指標		単位	区分	R02	R03
1	森林整備面積	ha	目標	520.00	520.00
			実績	234.00	172.00
2	素材生産量	m3	目標	31,000.00	31,000.00
			実績	23,176.00	28,416.00
3			目標		
			実績		
成果指標の達成度		目標値より高い		概ね目標値どおり	
				目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）		
間伐材の搬出が定着してきているものの、目標の達成には市内林業経営体のさらなる育成が必要である。市有林については、経営ビジョンに基づいた市有林の森林整備事業を引き続き実施する。また、林業経営体が市有林において経営計画を作成し、集約的な施策により森林整備を実施することができるよう支援し、市内において持続的な森林整備がなされるよう取組の推進を図った。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	森林の多面的機能の高度な発揮、市有林の資質向上、木材、林業振興のためには必要。
	妥当である	
	見直し余地がある	
	妥当でない	
有効性	成果の向上余地	素材生産量を向上させるため、林道等の路網整備が必要である。適切な森林管理を行うため、補助制度の活用と嵩上げ補助が必要である。制度の啓発により森林整備は推進される。
	向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	森林の持つ多面的機能の維持のためには、事業費を維持する必要がある。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
	どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	私有林の森林所有者が森林整備を行う場合、嵩上げ補助している。（森林組合等各事業体に周知）
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
	適正である	
総合評価	今年度の振り返り	森林の多面的機能の増進と林業の持続的な経営確立のため、市有林の計画的な施業と森林経営計画作成支援を行い、森林施業の安定的な実施に成果があった。
	次年度に向けて	市有林については引き続き計画的な施業を行い、市有財産の有効活用に努めるとともに、市内の木材生産量確保により、木材、バイオマス発電燃料等の安定供給に寄与する。私有林については引き続き森林経営計画作成とその実行を支援し、民間活力による市内木材生産量の増を推進する。胡四王山については引き続き下刈、除伐、病害虫駆除を実施し、観光資源としての価値の維持向上に努める。

令和3年度
事務事業評価シート 【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	06	02	02	164470	森林経営支援事業費
総合計画	分野	01	しごと	政策	01 農林業の振興
	施策	04	木材供給体制の構築		
目的	花巻市内の森林の適切な管理を図るため、持続的な林業経営が行えるように支援する。				
対象	私有林・森林所有者・林業事業者				
意図	森林の多面的機能の維持増進、基本財産の造成				
事業概要	スマート林業の構築 31,277千円 森林経営の推進 5,108千円 人材の確保育成 282千円 里山整備の促進 3,379千円 森林の保全 4,330千円 木材活用の推進 4,671千円				
市民参加の有無					
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会		事業協力・協定	後援・協賛
		補助・助成			委託
活動指標		単位	区分	R02	R03
1	森林経営の推進（森林経営計画作成支援）	件	計画	6.00	6.00
			実績	9.00	2.00
2			計画		
			実績		
3			計画		
			実績		
成果指標		単位	区分	R02	R03
1	森林経営計画作成面積（私有林）	ha	目標	220.00	240.00
			実績	400.00	382.00
2			目標		
			実績		
3			目標		
			実績		
成果指標の達成度		目標値より高い		概ね目標値どおり	
				目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）		
森林航空レーザー計測・解析の結果を森林所有者へ還元するため、所有森林経営のための個別相談会を開催している。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	森林環境譲与税は、市町村が行う間伐や人材育成・担い手の確保、木材利用の促進等に活用することとなっている。
	妥当である	
	見直し余地がある	
有効性	成果の向上余地	成果指標に掲げた森林経営計画面積については、計画策定に対する支援や市有林に隣接した民有林の共同計画策定を推進するメニューを盛り込んだことから成果の向上が期待できる。
	向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	森林環境譲与税の活用目的に合致しており、目的に沿って譲与税の範囲で取り組む計画としている。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
公平性	受益と負担の適正化余地	森林環境譲与税の活用目的に合致しており、森林所有者や事業者、地域活動団体など森林経営や森林林業の再生が図られるような取り組みである。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
総合評価	今年度の振り返り	森林航空レーザー計測・解析結果を森林所有者へ還元する取組の結果、着実に森林経営計画の策定に結びついている。
	次年度に向けて	策定された森林経営計画の実現に向け、市内林業経営体の施業効率の向上支援等に努める。